

「ああいいのくれねえわい、田さ水かけでくつちやら娘一人嫁んくれるわい」
なんて。んじえ今度猿は田の方向いで、

「ジャージャージャージャー、ジャージャージャージャー」

小便たつちやだど。したらたぢまぢ田が水いっぺえんなつて、水かがつただど。

「いやいやほんとんありがどう」

なんては言つただげんじよ、家つあ帰つて来てお爺ちやはあ座敷さ寝つちまつただど。

んで夜んなつて夕飯食うがど思つただげんじよ、お爺ちや寝で出で来ねがら、

「呼ばつてこお」

なんて言わつちえ、一番上の娘が呼ばりさ行つただど。

「お爺ちや、夕飯食わつしえよお」

なんて。

「うう、にしやおれの言う事聞いでくれつかあ」